

## 城西人文研究 既刊総目次

## 創刊号 (1973年)

序	武市春男
『城西人文研究』の創刊に際して	蒔田栄一
ニーチェとキリスト教倫理	木阪昌知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞末堯司
意味と認識	
——パース研究(4)——	西勝忠男
シーハラヴァットバカラナ訳註(Ⅱ)	
——第1章 第3・4・5話——	森祖道
独白と対話	
——ジョイスとペローの距離——	茂呂公一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水田宗子
内村鑑三おぼえ書き(その八)	岩谷元輝
人間の社会的構造と疎外	松浦孝作
『靈魂の系図』について	
——Carlyle を中心として——	松田福松
カフカの世界	
——非ユダヤ的ユダヤ人——	山口勲

## 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集——(1974年)

巻頭言	武市春男
バスク語の単文における語順の文体的価値について	堀田郷弘
内村鑑三おぼえ書(その九)	岩谷元輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造(1)	木阪昌知
『サムラー氏の惑星』試論	森哲夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考	太田広
宗教史にみる日本の均衡のメカニズム(Ⅳ)	
——マーケティングと宗教の関連において——	渡辺好章
遠近法と身体性について	山口勲
同一性(アイデンティティ)に関する諸問題——その一——	帆足喜与子
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——	黄色瑞華

「紙」以前の書写の用材について .....	井 口 大 介
故蒔田栄一教授 追悼 .....	松 田 福 松
あゝ蒔田栄一先生よ .....	伊 部 政 一

### 第 3 号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題 .....	貞 末 堯 司
発見の哲学——パース研究（6）—— .....	西 勝 忠 男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較—— .....	田 村 正 夫
鉄齋と華山 .....	小 野 浩
日本民主主義研究序論 .....	森 田 昌 幸
遠近法と身体性——その哲学的意味—— .....	山 口 勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i> .....	水 田 宗 子
『おらが春』の素材 .....	黄 色 瑞 華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで—— .....	堀 田 郷 弘
ジュイムズ・ジョイス研究——造形への意識—— .....	茂 呂 公 一
作品とその批評 —— <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere”—— .....	萩 原 博 子
司馬遷論 .....	黒 羽 英 男
三代日本主義の系譜について .....	松 田 福 松

### 第 4 号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）—— .....	西 勝 忠 男
カントの「定言命法」 .....	山 口 勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした—— .....	貞 末 堯 司
クレアラ・アン・ペイター覚え書 .....	萩 原 博 子
『教育者としてのショーペンハウアー』から ——ニーチェと自然—— .....	河 内 信 弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動 .....	堀 田 郷 弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学—— .....	陶 山 麿

## 冷たき牧歌

——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——	永井豊実
『おらが春』の素材(続)	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野浩

## 第5号(1978年)

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūrāni 源泉資料年代論	森祖道
大学英語教育の問題点(上)	鮫島久男
クレアラ・アン・ベイター覚え書(Ⅱ)	萩原博子
『シンペリン』, 皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説(1960年2月22日)と 東京羽田空港におけるインタビュー(2月29日)	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法(Ⅲ)	陶山夔
ニーチェと自然(一)	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐる	黄色瑞華

## 第6号(1979年)

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口勲
パーソナリティテストとしてのSCTに関する一考察	
——特に応用とその解釈をめぐる——	駒崎勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について(1)	
——我国におけるドョイス評価の推移——	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's <i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——	小野昌
ニーチェと自然(二)——『悲劇の誕生』——	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華

## 第7号(1980年)

ヤスパースとフッサール	
——精神病理学の哲学的基礎——	山口勲
PANTUN——puisi dan puisi rupa——	黄色瑞華
国際水利法に関する一考察	土屋生

## ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)

— 我国におけるジョイス評価の推移 —…………… 茂 呂 公 一

## The Development of the Audiolingual Approach

— Trends in Language Methodology in the United States —

…………… Fumiko Tamura

『空騒ぎ』の冥と光— 偽りの力学 —…………… 戸 所 宏 之

「エンディミオン」における映像のあり方…………… 永 井 豊 実

『ヴェニス商人』における Venture について…………… 小 野 昌

カミュとニーチェ— 『異邦人』と〈神の死〉 —…………… 村 岡 正 明

アンドレ・ジッドの方法 (IV)— 生命の美学 —…………… 陶 山 曠

「騎士と死神と悪魔」

— 『悲劇の誕生』におけるデュラレーの銅版画をめぐる —

…………… 河 内 信 弘

## 第 8 号 (1981年)

ワイトゲンシュタインのケムブリッジ…………… 山 口 勲

アメリカ文化論 (I)…………… 小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三

シャルル・モーロンの「精神批評」(1)…………… 越坂部 則道

「高き山々の頂きから」

— 『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み —…………… 河 内 信 弘

思想家としてのニーチェ…………… 小 野 浩

『四山藁』の俳論…………… 黄 色 瑞 華

## 第 9 号 (1982年)

アメリカ文化論 (II)…………… 金 勝 久

ジョイスのバドバ・エッセイについて…………… 茂 呂 公 一

アンドレ・マルローの最初の美術論

《*La Peinture de Galanis*》(1922) について

— マルローの初期の美術論の研究 (前) —

…………… 堀 田 郷 弘

シャルル・モーロンの「精神批評」(2)…………… 越坂部 則道

教育場面における夢の活用 (I)

— その背景としてのフロイトとユング —

…………… 細 部 国 明

身・語・意の三業 (tīṇi kammāni) と carita, saṅkhāra, samācāra

…………… 池 田 練 太郎

詩的コスモゴニーへの論理 ——ランボー詩の内的世界——	川那部 保 明
ハイデガー先生の想ひ出	小 野 浩
[研究ノート]	
俳諧連歌における謡曲の文句取り (一)	黄 色 瑞 華

### 第10号 (1983年)

ウィトゲンシュタイン：太洋の測量技師	
——逆限定のパス——	山 口 勲
アメリカ文化論 (Ⅲ)	金 勝 久
ジョイスのディケンズ・エッセイについて	茂 呂 公 一
教育場面における夢の活用 (Ⅱ)	
——夢と宗教——	細 部 国 明
Zur Entwicklung der deutschen Sprache in der DDR	
	Kuniomi Uchimura
『失われた時を求めて』における作中人物の出現と 話者のまなざし	北川原 哲 夫
カミュと〈他者〉	村 岡 正 明
[書 評]	
(Ⅰ) LE DASAVATTHUPPAKARANA	
Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE	
(Ⅱ) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA	
Texte pāli et traduction par Jacqueline VER EECKE	
	森 祖 道
[研究ノート]	
渭浜庵執筆一茶	黄 色 瑞 華

### 第11号 (1984年)

〈人間=記号〉論について	西 勝 忠 男
教育場面における夢の活用 (Ⅲ)	
——ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判——	細 部 国 明
Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst-Ⅲ.	
Die Herausbildung der (verbalen) Satzklammer	藤 井 明 彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den  
sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR ……Stefan Wundt

知と自我

- 初期シェリング哲学の原理について—— ……小林 保 則  
歌人 安江不空 ……小 野 浩  
『我春集』の序文をめぐる ……黄 色 瑞 華

第12号 (1985年)

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題

- イタリア民族形成史の一こま—— ……森 田 鉄 郎  
教育場面における夢の活用 (IV)  
——ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判—— ……細 部 国 明  
ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学  
——*Timber* の詩論を通じてジョンソンの詩を読む—— ……平 松 哲 司

Die Kommunistische Erziehung und ihre

Wertvorstellungen ……Stefan Wundt

シャルル・モーロンの「精神批評」(3) ……越坂部 則 道

『我春集』から『株番』へ ……黄 色 瑞 華

「研究ノート」

農村集落における精神的ムラ境の諸相

- 茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として—— ……小 口 千 明  
ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権  
——「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説—— ……畑 尻 剛  
グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉 ……鈴 木 敏 夫

第13号 (1986年)

巻 頭 言 ……石 南 國

“鏡”の論理から“魂”の論理へ

——人間記号論序説—— ……西 勝 忠 男

北歐中世 (スエーデン) における自力救済慣行

——実力社会の一考察—— ……伏 島 正 義

潮湯の偏在性に関する地理学的予察

——日本における海水浴普及との関連から—— ……小 口 千 明

ジョイスの“Exiles”における受難の思想について ……茂 呂 公 一

- Eloisa と Belinda の相違……………石川郁二  
 状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に  
 見られる共通特性……………鎌田精三郎
- R. Huch の〈スイスの春〉覚え書  
 —研究ノート—……………鈴木敏夫
- J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって……………藤井明彦  
 ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と  
 人物描写について……………飯塚英一  
 エアリエルの材源再考……………門野泉
- パトナム, シドニーの *sprezzatura* 精神  
 —宮廷世界の美学と「ルネサンス・  
 ヒューマニズム」の対峙—……………平松哲司
- The Dimensions of the U. S.—Japanese  
 Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue  
 ……………古川友章
- 神話概念の変遷Ⅱ  
 —翻訳語としての『神話』をめぐって(上)—……………天沼春樹
- 自己言及のかたち  
 —『イリュミナション』『生活Ⅲ』と「生活Ⅰ」を読む—……………新宅巖  
 フロベールにおける登場人物と場面……………大久保政憲
- 『息子』……………アルトゥール・シュニッツラー  
 —翻訳—……………春日正男
- 『バシュラルと過したひと夏』とその研究(Ⅰ)……………越坂部則道
- アンドレ・ジッドの方法(VI)……………陶山 騰
- アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書—  
 絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題……………堀田郷弘  
 「シルス・マリア」をめぐって……………河内信弘
- 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策……………大豆生田稔
- 歌人 安江不空・序(3)  
 —大和歌の問題—……………小野浩
- 『志多良』の序文をめぐって……………黄色瑞華
- 高橋克巳論—虚無僧のバトス—……………山口 勲

## 第14号(1987年)

Mahāsivātthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās……………Sodō Mori

- キーツの『秋に寄せて』(一)  
 ——第2連の情景——……………永井豊実  
 坪内逍遙とシェイクスピア  
 ——帝劇『ハムレット』をめぐって——……………小野昌  
 TENSE and TIME in English ……………Seizaburo Kamata  
 コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐって ……………繁田真弓  
 Kajii Motojiros “Fliegen im Winter” ……………Stefan Wundt  
 E. T. A. ホフマン『さびれた家』  
 ——作話技術を中心に——……………齊藤洋  
 バルザックの小説の提示部について……………佐野栄一  
 [研究ノート]  
 ニーチェにおける詩人  
 ——ニーチェの詩の理解のために——……………河内信弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……………黄色瑞華  
 イェイツの「エーカーの草地」について  
 ——〈悟り〉か〈狂気〉か——……………小堀隆司  
 アポリネールの恋の詩と真実……………堀田郷弘

### 第15巻 第1号 (1987年)

- 推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……………西勝忠男  
 “Elegy to the Memory of an Unfortunate  
 Lady” と “Eloisa to Abelard”……………石川郁二  
*Faerie Queene*, Book Iにおける「光」と「闇」……………古川啓二  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(二)……………黄色瑞華  
 「松のひぶき波をしらぶ」考……………安保博史  
 イェイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について  
 ——幻滅の狡智——……………小堀隆司

### 第15巻 第2号 (1987年)

- A Study of the *Sihalavathuppakarana*……………Sodō MORI  
 The Acquisition of English and the

## Learner's Attitude

—Motivation vs. Ego Boundary—.....Fumiko TAMURA

James Joyce の “Exiles” と芥川龍之介の

『藪の中』との類縁性(1)

- 人物像を中心にして— .....茂 呂 公 一
- 結婚で終わらない喜劇, *Love's Labour's Lost* の構造.....小 野 昌
- テオドア・フォンターネ: グスタフ・フライタークの  
 <借り方と貸し方> (試訳) .....鈴木 敏 夫
- ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』  
 におけるマカーリエ神話.....荻 野 静 男
- 神話概念の変遷 I  
 —Mythos の語史に関して (上)— .....天 沼 春 樹
- ニーチェにおける夕  
 —詩人としてのニーチェ— .....河 内 信 弘
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』の句(三).....黄 色 瑞 華

## 第 16 卷 第 1 号 (1988年)

ジョイスの “Exiles” と芥川の『藪の中』に  
 おける卍巴模様の構造と、真相の曖昧さの  
 意味について

- ジョイス受容史への加筆の試み—.....茂 呂 公 一
- カミュの「無差異」について.....村 岡 正 明
- Dostoevskij の小説における思想上の傾向.....ヴント・シュテファン
- イエイツ「ビザンチウムへの船出」について  
 —聖なる彼方の詭計— .....小 堀 隆 司
- パシュラールの死をめぐる  
 —『パシュラールと過したひと夏』とその研究 II— .....越坂部 則 道
- ニーチェにおける第七の孤独.....河 内 信 弘
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(四).....黄 色 華 瑞

## 第16巻第2号（1988年）

ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』	
——《死の薬》をめぐって——	春日正男
『結婚の生理学』におけるバルザックの政治	
と文学の問題	佐野栄一
イエイツの「塔」について	
——反復としての回想——	小堀隆司
[研究ノート]	
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（五）	黄色瑞華